

温暖化・流域治水対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 平成24年1月17日（火）、18日（水）

2 調査の概要

（1）日高港新エネルギーパーク（和歌山県御坊市）

日高港新エネルギーパークは、御坊市と関西電力が共同運営する施設で、関西電力が運営する新エネルギーの研究施設とPR施設、御坊市が運営する公園施設とで構成され、新エネルギーの普及促進を図ることを目的に平成19年度より、太陽光、風力、バイオマスの各発電方式の研究と普及促進に取り組まれている。

本県では、低炭素社会の実現に向けた取り組みの中で、再生可能エネルギー導入の取り組みを柱の一つとして進めているところであり、日高港新エネルギーパークの施設の概要とその取り組みについて調査を行った。



日高港新エネルギーパーク

（2）紀宝町相野谷川地区（三重県紀宝町）

三重県紀宝町の相野谷川地区では、かねてより国の土地利用一体型水防災事業と連携し、災害危険区域指定の活用などにより住民の安全確保を図る減災対策の取り組みが実施されており、また、平成23年9月の12号台風では、想定外の豪雨による相野谷川の氾濫などにより被害も発生した。

国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所および紀宝町における取り組みについて、現地の状況も併せて調査を行った。



相野谷川